

超高層住宅の省エネ基準不適合状況について

- ・平成22年4月から平成26年1月までに省エネの届出がされたもののうち、延べ床面積10,000㎡以上かつ高さ60mを超える住宅で、省エネ基準に不適合となっているものについて、その省エネ性能と基準値との乖離状況を表にまとめた。
- ・省エネ基準には、熱損失係数による「性能基準」や部位ごとの断熱性能による「仕様基準」など複数の判断基準があり、それらのうちから選択して評価する。
- ・各物件において「不適合」となっている項目に着色し、さらに「中間値」も満たさないものについては、濃く着色した。

					性能基準		仕様基準(熱貫流率)				仕様基準(熱抵抗値)					
					平成11年基準 ※1	0.07	0.43	0.75	0.53	4.65	0.55	2.5	2	1.1	1.5	
					平成4年基準 ※2	0.1	0.67	1.11	1.26	6.51	0.6	1.1	1.1	0.7	1	
					中間値 ※3	0.085	0.55	0.93	0.895	5.58	0.575	1.8	1.55	0.9	1.25	
60m超					▼以下	▼以下	▼以下	▼以下	▼以下	▼以下	▼以下	△以上	△以上	△以上	△以上	
番号	年度	高さ(m)	延べ床面積(㎡)	階数(地上)	中間値を満たさない項目がないもの	熱損失係数	夏季日射取得係数	熱貫流率(屋根)外	熱貫流率(壁)内	熱貫流率(床)その他内	熱貫流率(開口部)	日射侵入率	熱抵抗値(屋根)内	熱抵抗値(屋根)外	熱抵抗値(壁)内	熱抵抗値(床)外気・外
1	H25	63.80	21254.34	21		※4 3.73	0.07									
2	H22	80.30	12814.18	23							6.51	0.56	1.18	1.18	0.96	1.15
3	H23	83.74	12370.57	25	○	2.97	0.06									
4	H22	96.80	18496.11	27	○	3.00	0.062									
5	H25	99.40	15762.05	30		3.58	0.091									
6	H23	111.80	24434.51	35							4.07	0.52	1.15		0.75	1.25
7	H25	112.95	24778.20	35				0.639	1.103	1.145	4.65	0.52				
8	H25	120.42	24474.97	36	○						4.07	0.52		2.5	0.93	
9	H24	121.83	46553.65	37	○	2.74	0.072									

※1 「平成11年基準」は届出当時の省エネ基準であり、これを満たさない項目があれば「不適合」となる。
 ※2 「平成4年基準」は過去の省エネ基準であり、一般的に、これを満たさない項目があれば「著しく不十分である」とされる。
 ※3 「平成11年基準」と「平成4年基準」の中間値。省エネ基準との乖離の度合いを測る目安として設定した。
 ※4 住戸の面積が小さいため「小規模な住宅について適用される熱損失係数の基準値」が適用されており、基準値が緩和されている。
 このケースでは平成11年基準値2.9、平成4年基準値3.87(中間値3.385)